

微粉炭化と未スラリー注入により、
粉末活性炭注入の維持管理性向上に貢献

ISSUE 課題

- 課題 1 粉末活性炭の使用量が多く、低減したい
- 課題 2 粉末活性炭のスラリー注入配管は閉塞し易く、洗浄の手間がかかる
- 課題 3 機器点数が多く、維持管理する項目が多い

Solution ソリューション

① 粉末活性炭使用量の低減

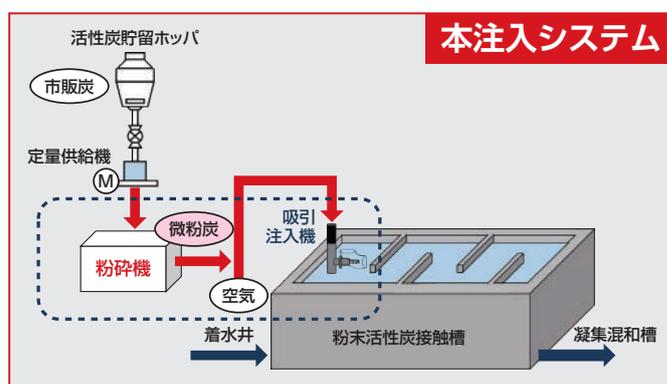
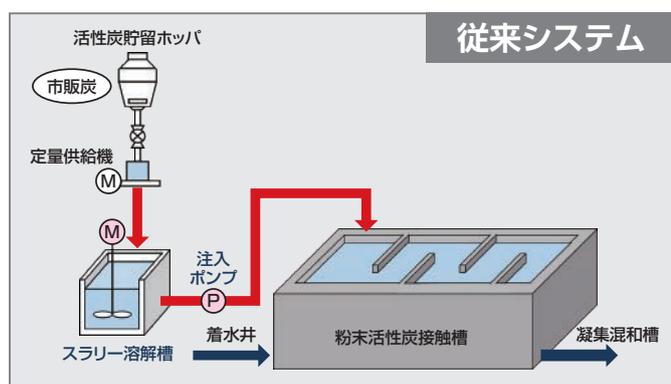
- 微粉炭化により、粉末活性炭の接触効率が向上し、粉末活性炭の使用量を低減
また、粉末活性炭注入に由来する発生汚泥量も低減

② 未スラリー注入により、注入配管閉塞リスクの低減

- 吸引注入機により、注入配管(水中部等)に粉末活性炭を残さず、閉塞リスク低減
注入停止後の配管洗浄作業は不要

③ 機器点数の削減による、維持管理性の向上

- 未スラリー注入方式により、スラリー溶解設備、注入ポンプが不要



Merit
メリット

Merit 1

粉末活性炭使用量の低減

微粉炭化

Merit 2

注入配管閉塞リスクの低減

未スラリー(ドライ炭)注入

Merit 3

機器点数の低減、
維持管理性の向上